

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

KOKOLAB.

隔月刊ココラボ通信

NO. 91
2021.June

完成現場報告 藤枝市『満の家』

満ちていく、 毎日の暮らしが宝物

特集

四季を彩る庭づくり —内と外をつなぐ樹々の誘い—



中庭から建物を見る。大きな窓、アイアンで製作した外階段が特徴の外観。植栽が入ったことで建物と庭がつながり、敷地全体を一つとした空間が生まれた。



南西から見た外観。道路との高低差を生かし、西側道路より2台分のビルトインガレージを設けた。道路境界に板塀を設置し、植栽と合わせてプライバシーを確保している。

お二人との打合せはとても楽しく、毎回時間を忘れて進んでいきました。具体的な家づくりは敷地を拝見させていただく事から始まりました。Kさんの敷地は南西の角地で十分な広さもあり、理想的な敷地形状でした。数十年前に開発された住宅地の一角でしたが、実際に家が建築される事はなくそのまま空き地になっていた土地という事でした。日当たりも申し分なく接道も広い好条件の敷地でしたが、道路と40cm〜60cm程の高低差のある敷地でした。敷地を始めて見た時、この高低差を生かして設計出来ないかと考え、2台分の駐車スペースを建物内に取込んだプランを提案しました。プランを考える時、駐車スペースは重要な要素のひとつになっています。接道が一方の時は選択肢がありませんが、角地などの二方に接道がある場合、どちらに取るかで計画が全く異なってきます。今回は南と西側に接道がありますが、私は迷わず西側に駐車スペースを確保し、南側に広い庭をつくるプランを考えました。Kさんご夫婦にも気に入っていただき、高低差を生かした中二階のプランで進んでいきました。基本プランまではスムーズに進みましたが、具体的に収納や各個室などを考え、幾つかのプランを考えていきました。最終的には、屋根裏スペースを利用して大きな収納を確保しつつ、吹き抜けと中二階がつながった開放的なプランが出来ました。

庭の景色と一体となったダイニング空間。毎日窓から庭の様子が見え、木々の変化や鳥の訪れを楽しんでいる。



満ちていく、 毎日の暮らしが宝物

完成現場報告

藤枝市／『満の家』

文・写真／ココロポ 山崎健治



今年も気がつけば6月。月日の経過は早いもので、一年の半分が過ぎようとしています。早いといえば、今年は季節の移り変わりも早いような：樹々の芽吹きや草花の開花、梅雨入りも例年より早く来ましたね。今回ご紹介するKさんのお宅も完成して早一年が過ぎました。思い起こせば打合せから着工、完成まで、その時々には悩み苦労もありますが、家が出来て実際に暮らしている姿を見ると、家づくりはほんの少しの間だったように思えます。Kさんと初めて出会ったのは3年前の秋に行った焼津市の完成見学会でした。すでに土地を購入し、家づくりについて考え始めていた頃だったと思います。私たちの提案する木の家についてたくさんお話をし、熱心に聞いていただいた事を覚えています。その後、築15年程経過した私の自宅を見学していただいたり、幾つかの完成したお宅を見ていただきながらお話を重ねていきました。明るく元気な奥さん、優しく丁寧に接してくれるご主人、



二の字型で配置したアイランドキッチン。シンク側のカウンターはぐるっと回れる便利な配置、水回りや和室との繋がりもよく、家事動線の重要なポイントになっている。二の字型のキッチンは、広い作業スペースを確保出来る事も大きなメリット。シンク横やコンロ横など、お料理の作業効率もアップ。



ダイニングキッチンと繋がった6畳の和室。和室は中庭を囲んだL字型で配置し、客間や将来の寝室として落ち着きのある空間をつくった。和室の窓からは広間の窓と違った景色が見え、また障子の柔らかい光や棧の影が独特の雰囲気をつくっている。和室の南側には広縁を設け、サンルームとしても活用している。



中二階の入り口に設けたスタディーコーナーには、L型のカウンターや本棚が造りつけられている。中二階に設けた事でちょっとした安定感が生まれ、書斎としても活用出来そう。スタディーコーナーからは1階や庭が見渡せ、視界が広がり気持ちの良い空間になっている。



吹き抜けて繋がった広間空間。8段で上げられる中二階は1階と一体となり、家族が近くに感じられる。煙突が屋根まで伸びた薪ストーブは、大きな空間を暖め、また、広間のアイコン的なアイテムとなり、なくてはならない存在になっている。

家族との距離感に こだわった空間

今回のプランの中での一番のテーマは、広間空間と中二階スペースをどのようにつなげるか？一般的に2階に上がるには、13段〜15段程度の階段を設けますが、1階と2階との距離が離れ、2階に子供室やスタディールームなどを設けた場合は、1階との関係が薄くなってしまいます。私の得意なプランとして、水回りや収納などの天井高さを低くした部分の2階に子供室などを設け、10段で上がる事が出来るプランもあります。今回は、敷地の高低差を利用して、駐車スペースの上に子供室とスタディースペースを配置し、8段で上げられるプランとしました。一段は約22cmあるので、実際の高さは1m80cm弱となり、一般的な2階と比べて、1階との距離がとても近く感じられます。ちょっとした高さの変化ですが、実際にこの空間に立つと特別な雰囲気を感じ、吹き抜けの開放感と合わせて、横への広がりを感じます。この高さにこだわった大きな理由は、子供たちとの距離感を縮め、家族をいつも近くに感じていただきたいと考えた事、平屋とまではいきませんが、毎日の移動を少なくし、家事の負担を軽減したいと考えた事から発想しました。中二階の高さが低くなった事で家全体のプロポーションが低くなり、全体として落ち着いた

外観になりました。中二階と1階が近くなった事から生まれたもうひとつの特徴は、ベランダとデッキをつなぐ外階段を設けた事です。通常の高さ関係ならば階段でつなぐ発想はなかなか出てきませんが、Kさんの家のプランの場合、デッキとベランダがつながる事でワクワク感が広がり、家の中の階段と合わせてぐるっと回れるプランになりました。実際に布団を干したりちょっとした上下の移動にも便利で、ついつい上がりたくなってしまふ階段です。外階段はアイアンを使ってデザイン性のある形状とし、外観のポイントにもなりとても気に入っています。Kさんのお宅に入ってから一番に入ってくるのが南側の大きな窓だと思えます。吹き抜け空間いっぱい窓を設け、庭の木々や空を見る事が出来ます。庭が出来るまでは隣家からの視線が気になっていたようですが、常緑樹を使って上手く隠す事が出来、これからは窓を開けて、庭と一体となった空間が楽しめそうです。その他1階には、広間と一体になったキッチンや、L型につながった和室、縁側(サンルーム)があります。キッチンは家事動線を考えてアイランド型としました。水回りやサンルームともスムーズにつながり、忙しい毎日の家事の効率を上げてくれます。和室は客間や将来の寝室としても考えており、襖や障子の棧などにもこだわり選んでいきました。



ダイニングの大きな窓に設置したハニカムサーモスクリーン。ハニカム形状を利用した断熱性能の高いスクリーンとなっている。また、障子の様な透け感があり、日射を遮りつつも柔らかな明かりを室内に届けてくれる。

仕様内容

家族構成	家族4人
敷地面積	233.57㎡
建築面積	112.02㎡
延べ床面積	139.12㎡
構法	落とし込み板壁構法
外部仕上	屋根 ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺き 外壁 ガルバリウム鋼板角波タタ貼 マサ土掻き落し仕上げ 外部建具 木製オリジナル建具 ナラ、タモ(ペアガラス) アルミサッシ(ペアガラス)
内部仕上	天井仕上 杉本実張り 厚12mm 壁 青森ヒバFJ本実板張り 厚15mm 杉落とし込み板現し、漆喰塗、 青森ヒバFJ本実板張り 床 栗本実板 厚15mm・杉本実板 厚12mm 内部建具 木製オリジナル建具
設備	キッチン ステンレスヘアライン天板 オリジナルキッチン 洗面化粧台 オリジナル洗面化粧台 浴室 オリジナル浴室 (壁・天井：青森ヒバFJ、床：サーモタイル)
竣工	令和2年3月

心地良さと使いやすさ
住まいに大切な2つの要素

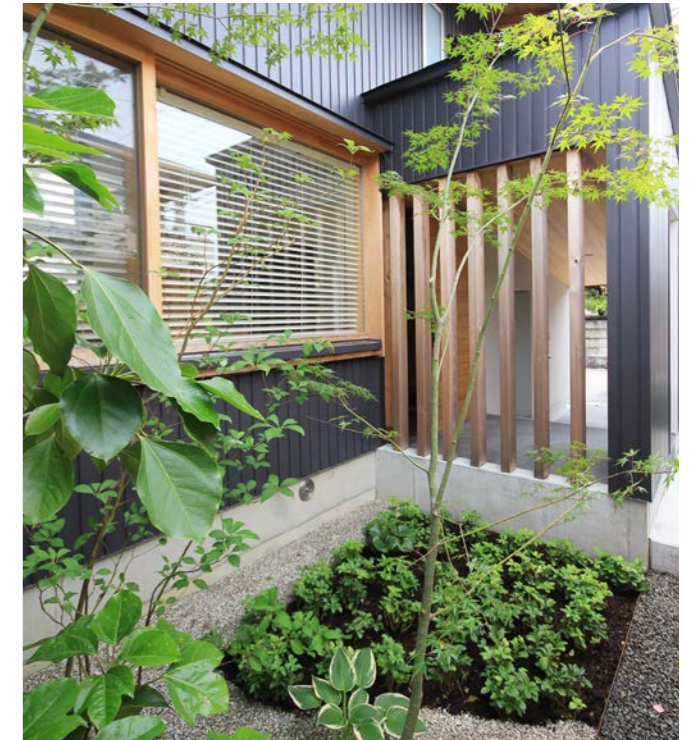
機能性を追求した便利な設備や素材は住まいに求められる大切な要素ですが、心地よく豊かな生活を求めると、なんだか物足りない。住まいにはハレトケ、2つの要素が必要です。



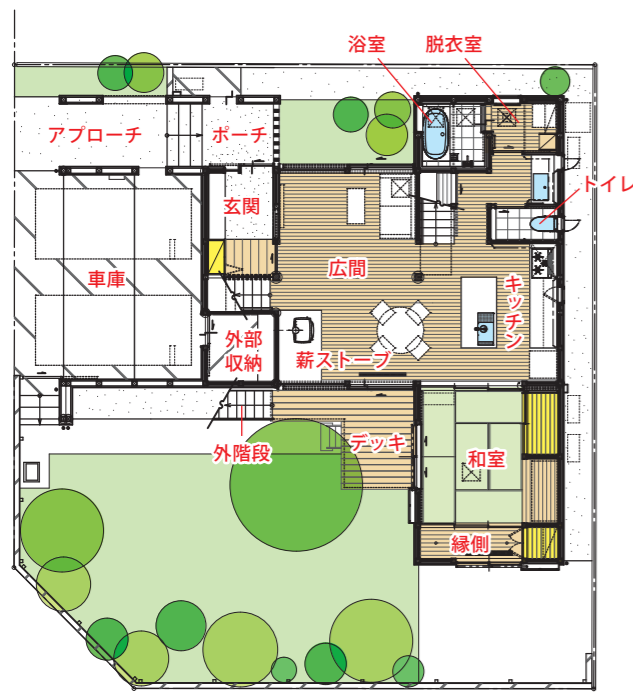
アイアンで製作した階段手摺。アトリエプラトーさんの作品は、鉄でありながら暖かさを感じる表現が特徴。



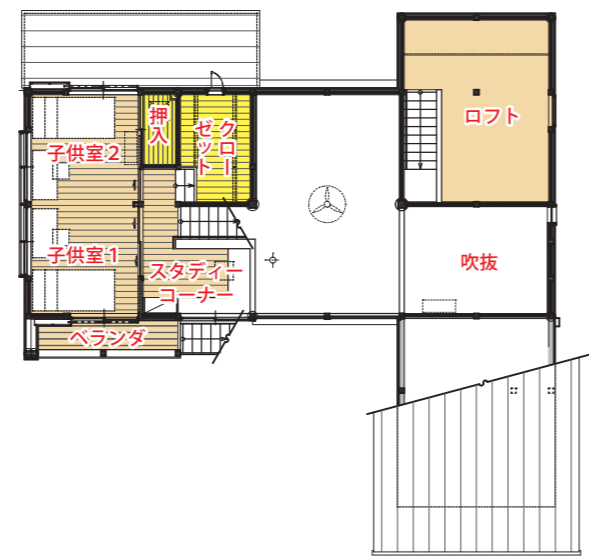
大きな空間を暖めてくれる薪ストーブはダブル640WD。クラシック感と高度な技術のバランスがgood。



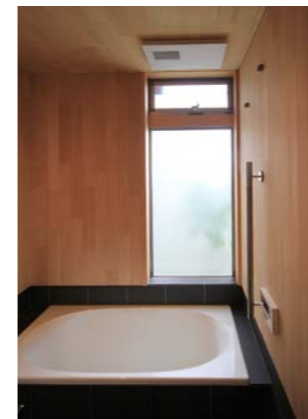
玄関ポーチと広間の北窓から見える位置に坪庭をつくった。坪庭には、イロハモミジ、クロモジ、カクレミノなどが植えられている。



1F 敷地平面図



2F 平面図



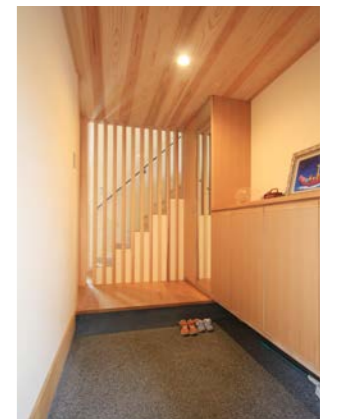
縦長の大きな窓を配置した木の浴室。窓にうっすら映る木の葉が心地よく感じられる。



杉板の壁とサーモタイルの床、シンブルなトイレの内装だが、どちらも綺麗に長持ちする安心の素材。



オリジナルで製作した洗面化粧台。Kさんと細かな打合わせの中で仕様を決めて行った。



天井を低く抑えた落ち着いた感のある玄関。広間からの光が格子越しに入り込み、陰影の綺麗な玄関となった。

ハレトケの暮らし

心地よい空間や毎日の生活を考えた性能と使いやすさ、住まいは人が暮らす器と言われますが、ただ丈夫で物が入られるだけの器では魅力が無く、また装飾だけが目立ちにくい器では意味がなくなってしまう。住まいにはどちらも大切な要素であり、それらのバランスが重要だと思えます。今回Kさんの家づくりに携わらせていただき、そうした二つのテーマを盛り込みながら打合せを重ねていきました。ワクワクする楽しい打合せ、でも気が付けば収納や家事動線は…コストもだんだんと気になります。毎回紆余曲折、気持ちも上がったり下がったりではありましたが、家が完成し暮らしぶりを見てみると、丁度良いバランスで出来て本当に良かったなと思いました。今回の特集(P8~9)でもご紹介したように、完成して1年のタイミングで庭づくりを行い、たくさん緑で家が包まれました。広間の大きな窓から見える若葉、デッキに映る木漏れ日、外階段やベランダから見える花や鳥、それらひとつひとつが家族の思い出となり、今後かけがえのない住まいになっていくと思えます。元気なお子さんはまだまだやんちゃ盛りで、ゆっくり出来るおうち時間は少ないと思えますが、毎日の暮らしをたくさん楽しんでいただきたいと思います。

庭に山の風景をつくる

今回はKさんの家の庭づくりに一日密着取材を行いました。普段なかなか見ることの少ない造園屋さんの仕事ぶり、穴掘りや配置、水締めなど、親方を中心としてどんどん進んでいきます。木の種類や大きさ、また姿や形を見て絶妙に設置され、感動と職人のこだわりを感じる一日となりました。



シンボルとなるヤマモミジの位置を決め、根鉢に合わせた穴を掘ります。大きな穴ですが、今回は人力での作業。固くて大変でしたが見事な穴が掘れました。



植木はユニック車で庭に入れていきます。大きな木は根鉢も大きくとても重たい。幹や枝を気にしながら慎重に作業が進みます。



植木は一見小さく見えても土が付いているのでなかなかの重量、二人で担いで離れた位置に運びます。担ぎ方にもコツがあるようで、バランスをとりながら軽々と運んでいきました。



坪庭やアプローチの小さなスペースにも植栽します。ポットに入った下草を、ひとつひとつ丁寧に植えていきます。アプローチには富貴草(フッキソウ)を植えました。



シンボルのヤマモミジを設置、親方が部屋の窓やデッキからの姿を見て指示を出します。少し倒したり向きを変えたり、全体のイメージと重ねながら配置を決めていきます。



シンボルのヤマモミジは、上から見るとなかなかの大きさです。枝ぶりも良く、Kさんご夫婦もとても喜んでくれました。配置が決まったら水をたっぷり入れて水締め、空気を抜き、しっかりと密着させることが重要です。



後日低木や下草、芝生を植えて完成です。全体が出来上がると感動の一体感。今後時間を掛けて馴染んでいく姿も楽しみにしたいと思います。

四季を彩る庭づくり —内と外をつなぐ樹々の誘い—

落葉樹は芽吹きや紅葉など、四季折々の姿を見せてくれ、常緑樹は一年を通じて家を守ってくれている。樹々は暮らしに変化と安らぎをあたえてくれる。

住まいが完成してちょうど二年、昨年3月に完成した、藤枝市『満の家』のKさんの庭づくりを行いました。建築工事にも良い季節があるように、庭づくりにも適した季節があり、今回はヤマモミジをはじめ、落葉樹の芽吹きを待っての植栽工事となりました。Kさんのお宅には、南側の大きな庭スペースと、北側の坪庭スペースのふたつの庭があります。設計時から庭のスペースを大きく確保する事をコンセプトとし、部屋からの眺めや庭スペースを優先した駐車スペースなどを考えてプランを組み立てていきました。今回造園工事をお願いしたのは『有限会社東香園』さん、山梨県南アルプス市の造園屋さんで少し遠方の職人さんですが、山崎の自宅をはじめ、展示場の『こらぼの家』などでもお願いしている信頼できる造園屋さんです。東香園さんは日本の在来種にこだわった植栽を心掛け、日本の山の原風景をコンセプトにした庭づくりを行っています。今回は、ヤマモミジをシンボルツリーとした雑木林風の庭をテーマにしつつ、隣家の窓からの視線を隠す事も課題として行いました。庭づくりに様々な手法やテクニックがありますが、東香園さんは親方を中心としたワンチームで、木の選定から全体の構成を親方のイメージでつくり上げていきます。どの場所に何の木を植えるか、木の向きは、樹々の相互のバランスなどなど、木は一本一本に個性がある

ため、その場その場の対応力が重要になってきます。親方曰く、「色々な風景や綺麗なものをたくさん見る事が大事、教えられないものではないので、自分で感じてイメージをつくり上げていかなければいけない」と話していました。庭づくりの打合せにも何度か来ていただき、お施主さんの要望も聞いて打合せをしてくれる親方ですが、一旦工事に入ると厳しい職人の親方に変貌。仕事に対するこだわりをひしひし感じます。そんな造園屋さんの仕事をじっくり見学しようという事で、植栽工事の初日にKさんご夫婦と共に一日密着取材を行いました。何も無かった庭に、どんどん樹々が植えられるという間の一日取材となりました。後日低木やグラウンドカバーが植えられ、木漏れ日と緑の広がる素敵なお庭が出来上がりました。

(文・山崎健治)



有限会社 東香園 (代表取締役: 名取 満)
山梨県南アルプス市十日市場1828-1番地
TEL: 055-282-0970 FAX: 055-282-0952

元気一杯！ 笑顔になる野菜

～心も体も元気になって、笑顔になる野菜～

Lalala PLaNET plus (ラララ・プラネット・プラス)

蓮華寺池公園近くにある無農薬野菜の八百屋です。地元の新鮮でおいしいお野菜、有機野菜や自然農法の野菜を取り扱い、お野菜を中心とした心と体がほっこりするランチも大好評。元気で笑顔になるお野菜を食べに買いに来てください。
[住所] 藤枝市若王子1-2-34 [Facebook] LalalaPLaNETplus
[TEL] 090-1985-6285 [Instagram] lalala_plus.kumi

オーガニックファーム彩さん

Lalala PLaNET plus さんで取り扱っている安心安全な野菜は、どのような農家さんがどのようなこだわりをもってつくっているのでしょうか。採れたての野菜を届けてくださる農家さんの想いをご紹介します。

金谷に畑のあるオーガニックファーム彩さん。ほわんとした雰囲気だけど芯と熱い想いのある彩さんは Lalala PLaNET plus の中でも一番の若手。

ご実家も無農薬のお茶を栽培しているお茶農家さん。そんな彼女が無農薬野菜を作るきっかけになったのは2011.3.11の東日本大震災の原発事故で原子力発電の危険性を知り、環境問題について改めて考えさせられたことで農業や種のこと、耕作放棄地の課題などを調べていき、まずは自分の出来ることから始めようと思いつき無農薬野菜の栽培を始めたそうです。

無農薬のお野菜を栽培する際に気をつけていることは、近隣の畑で慣行栽培（農薬や化学肥料を使った従来の栽培）をしている所があるので、除草剤を近くまで撒かれないように早めに草取りをしたり、野菜も距離をあけて植え付けたりと細心の注意を払っています。

野菜を買ってくださる方が身体と心が豊かになる一助になれば嬉しく思い、昨年からは生姜の栽培に力を入れています。現代の生活では身体が冷えやすいので、生姜は身体を温める力があり、より昨今の生活に必要なようになってくると思い頑張っています。お野菜は毎日にかかせないものなので、身体と心に良いものを提供していけたらと思います。地球と仲良くしていくため、農業はまだまだ伸び代があると思うので精進していきたいです。

金谷地域の女性の生産者 e-chan farm さんたちと麦やサツマイモなども一緒に栽培をしたり、ひとりでは大変な作業もみんな協力しあい、アイデアを出し合って女性ならではの目線で商品化をしたりしています。



簡単生姜焼き

- 1) 豚こまに醤油靴とすりおろした生姜を入れて揉みこみ、15分くらい置く。
- 2) フライパンにゴマ油を引き、茄子や玉ねぎ、好みの野菜を炒める。
- 3) 野菜に火が通ったら、漬けた豚肉を炒め、豚肉の色が変わったら出来上がり。

※薄味に感じたら、醤油かみりんを少し足してください。

※醤油靴を使うと豚肉が柔らかくなります。

※生姜をにんにくに変えてもOK。



無限ピーマン

- 1) ピーマンを輪切りの1cm幅に切り、さっと茹でる。
- 2) ツナ、鰹節、ゴマ油、ゴマ、塩コショウ、中華だしと和えて出来上がり。

※ピーマン苦手なお子さんにも好評です。

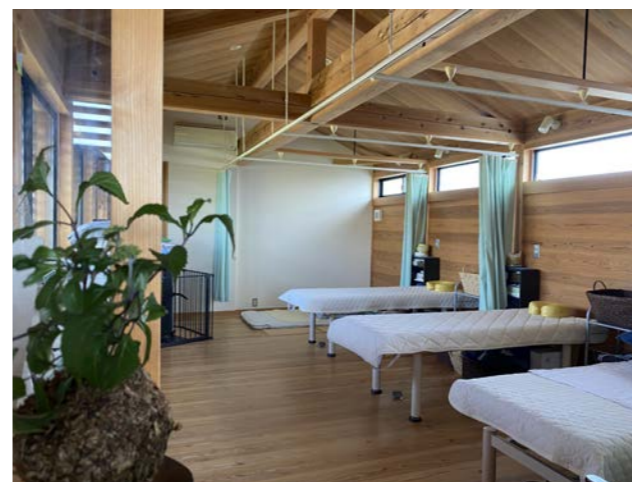
※めんつゆで甘辛味付けも美味しそうですね。



「ココラボ設置店」より…

こだわりのお店紹介

はりきゅう治療室すずみ



幼少期からの自律神経失調症でOLの仕事を辞め、鍼灸師の道へ。やがて体調は快復し、開業10年と少し。鍼灸を通じて皆さまと気を通わせる事が、私の癒しといきがいになりました。“脈診”という手法を用い、あなたの心身が発していることをお伝えしています。生活習慣の見直しや心の整理をして、本来の自分を取り戻し、一度きりの人生をより豊かに充実したものになるように。これからも皆さんに寄り添っていきます。

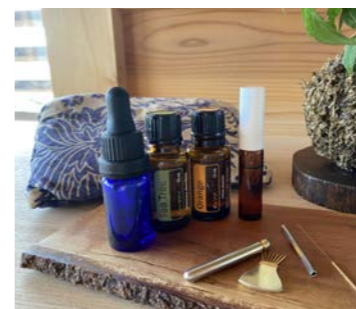
はりきゅう治療室すずみ

島田市東町1370-2
[TEL] 080-1604-0789
[OPEN] 8:30~15:00(日によって変動あり)
[定休日] 日曜日(火・金・土は月に1~2日のみの鍼灸)
[URL] <https://szm89.eshizuoka.jp/>
[SNS] instagram @hari-suzumi

すずみさんからお知らせ

ここに行けば 何かが見つかる?!

人生を豊かにする“モノ・コト”との出会いと健康的な暮らしの具体的な提案として、様々なボディケアの体験と学習の場に、ここらばの家を活用させていただきます。アロマトリートメント、波動調整器、気功、ヨガ、分子栄養学、ISD 個性心理学、奇跡講座、ホメオパシー、養生教室 etc …。あなたの五感に響くコトに出会えたら、なによりです。



伝兵衛堂藤枝ショールーム



藤枝の自然豊かなロケーションに囲まれた地にトレーラーハウスの小さなショールームをオープン致しました。伝兵衛とは、その名の通り「みなさんにあたたかな暮らしを“伝”えたい」という思いが込められています。薪ストーブ導入のご相談にじっくりとお話を聞かせていただくために対面での販売を基本としておりますので、まずはご来場ください。ご来場につきましては事前にご予約をお願いいたします。

伝兵衛堂藤枝ショールーム

藤枝市助宗444
[TEL/FAX] 080-5107-0751
[OPEN] ※カレンダー参照
[定休日] 水・日(1st, 3rd)・火(2nd, 4th)
※ご予約状況による
[URL] <https://den-bay.jp/lp/fujieda/>

伝兵衛堂さんからお知らせ

こんなストーブもご紹介します

ペレットストーブですがいわゆるそれとは違い電気が必要ありません。薪ストーブに一番近い燃焼をします。当然ファンで温風が出てくる訳ではないので静か。輻射熱が穏やかに伝わってきます。



発行人 有限会社ころ木造建築研究所
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1047-2
TEL: 0547-54-4556
FAX: 0547-54-4557
http://www.kokolab.jp
E-mail: office@kokolab.jp

担当
山崎良江(「ココロボ通信設置店より…」担当)

編集 … Branch 村上幸枝
印刷所 … 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や
コピーを禁じます。



[購読を希望されます方へ]

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、E-mailのいずれかでお申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円
(上記料金は発送費として頂いております。)

※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の家造りを行っている設計事務所です。隔月発行の『ココロボ通信』、また『こころぼスクール』やイベントなどを通し、住宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

編集後記

今年は例年より1ヶ月程早く梅雨入りしました。雨や湿気に悩まされ、現場の進捗が気になります。移動中に何気なく目に入る建築現場、木材や合板などを使った現場はたくさんありますが、雨の養生(シートで囲う)をきちっとしている現場は少なく、屋根だけブルーシートが掛けられているけど壁はそのままとか、中には何もしてなくて濡れ現場もあります。木材は濡れてすぐに腐ったりしませんが、シミや変形など、濡れたまま施工を続ければ、シロアリや腐る原因にもつながります。出来てしまえば見えない部分ですが、お施主さんの気持ちを考えても濡らすわけにはいきません。この季節は雨養生との戦いですが、“ココロボの現場は絶対濡らさない!”を目標に職人一同頑張ります。

(山崎健治)



🏠 藤枝市『若葉の家』構造見学会を行います。

今回の家づくりのポイントは道路との高低差を生かした設計、ちょうど特集でもご紹介した『満の家』と同じく、高低差のある敷地をどのように生かしていくか? 駐車場や間取り、階高などを工夫して、立体的なプランが出来ました。今回の見学会はまだ建築途中ですが、木材や大工の手仕事などのこだわりと合わせて、高低差を利用した空間を体験していただきたいと思います。

- ◆ 日時: 2021年7月下旬(日) 10:00~17:00(予約制)
- ◆ 場所: 藤枝市

※見学会の詳細情報はココロボホームページ [http://www.kokolab.jp] でお知らせします。
※コロナウィルスの影響により、開催の変更がある場合があります。ホームページにてご案内いたします。

🏠 木の家相談会

木の家仕組み、予算など、何でもご相談ください。

- ◆ 日時: 7月3・4日(土・日)
8月7・8日(土・日)
10:00~17:00(予約制)
- ◆ 場所: 『こころぼの家』

🏠 こころぼの家オープン日

コロナウィルス対策として予約制で行います。ご希望の日時をご連絡ください。



7月 3(土) 4(日) 10:00~16:00
8月 7(土) 8(日) 10:00~16:00

『こころぼの家』information

『こころぼの家』では毎月テーマを決め、ココロボ通信設置店さんなどに協力をいただきながら暮らしにまつわる展示やイベントを行っています。また四季の暮らし方に合わせた木の家暮らしを体験できるみんなの木の家として、様々な企画をしています。

現在ご案内している教室・イベントにつきましては、開催の予定ではありますが、コロナウィルスの影響により中止、または延期になる場合がございます。変更の場合はFacebookとInstagramにてご案内いたしますので、そちらをご確認ください。何とぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

7月

さじかげんさん主催

季節のジャム教室

7月2日(金) 10:00~12:00

7月はもものジャムです。おいしいジャムをさじかげんのレシピで一緒に作っていきましょう。出来上がりのジャム1瓶と藤枝のブランジェリモザイクさんのパンのお土産。

[参加費]3,000円

[申込] sajikagen@hotmail.com



8月

はりきゅう治療室すずみさん主催「宙〜そら〜」

いととし

8月4日(水) 10:00~15:30

Cassiopeiaさんによるハンドメイドの刺繍作品の展示・ワークショップを行います。たわさんのお菓子と展示もお楽しみください。

[問合せ・申込] FB Messenger Kaori Mochizuki、または、「はりきゅう治療室すずみ」Instagram (@hari_suzumi) DMまで



BREAD Lab conocaさんの

パン教室&パンの販売

★天然酵母で作るパン教室を開催します。

7/20(火)大納言パトン 8月休み

[申込] takazou1916@gmail.com

ご希望の開催日5日前までに、お申し込みください。

★月に一度のパンの販売日 11:00~ 7/9(金)、8月休み



自宅パン教室 出張教室 講師・レシピ考案委託
mail: takazou1916@gmail.com

- ◆ 場所: 『こころぼの家』 島田市東町1370-4

イベントの詳細や今後の展示・イベントなどは、当社Facebook「Kokolab.」、instagram「kokolabnoie」でお知らせしていきます。また、見学や体験などについては随時予約を受け付けていきますので、電話やメール、お問合せフォームなどでお気軽にご連絡ください。